

取付手順説明書

はじめに

作業を行う際には 必ず水平な場所で、コンクリートなどの下地が固い場所で行ってください

取り付けには専門の知識がある方のみお願いします

取り付けが終わりましたら 一度 100キロほど走行の後 各部増し締め点検をして下さい

取り付け後の タイヤ外形を大きくしたことによる 破損や故障などは一切責任を負いません

以上を ご理解いただいた上で 取付してください

1、リアコイル延長スペーサーを取り付けします



フレームに馬を掛け ショック左右 ラテラルロッド ホーシング側 ブレーキホースを外します
リアアームのフレーム側の付け根も緩めて起きます(ピボット部分)
ゆっくり
ホーシングを下げ コイルが外れるまで下げていきます
コイルが外れたら フレーム側に付いているゴムを外し スペーサー ゴム コイル
の順に入れていきます

コイルがはまる位置までホーシングをジャッキで上げ 次にショックを取付します



写真は社外のショックですが 今回のキットでは純正に上記のブラケットを取付します

ブラケットは上側に付けてください

ブラケットをショックに付ける際、角度が付かないよう真っ直ぐに付けてください

ブラケットをフレーム側に付け 7割ぐらいで締め付けしてください

作業が終わり車を着地させてから 増し締めを行ってください

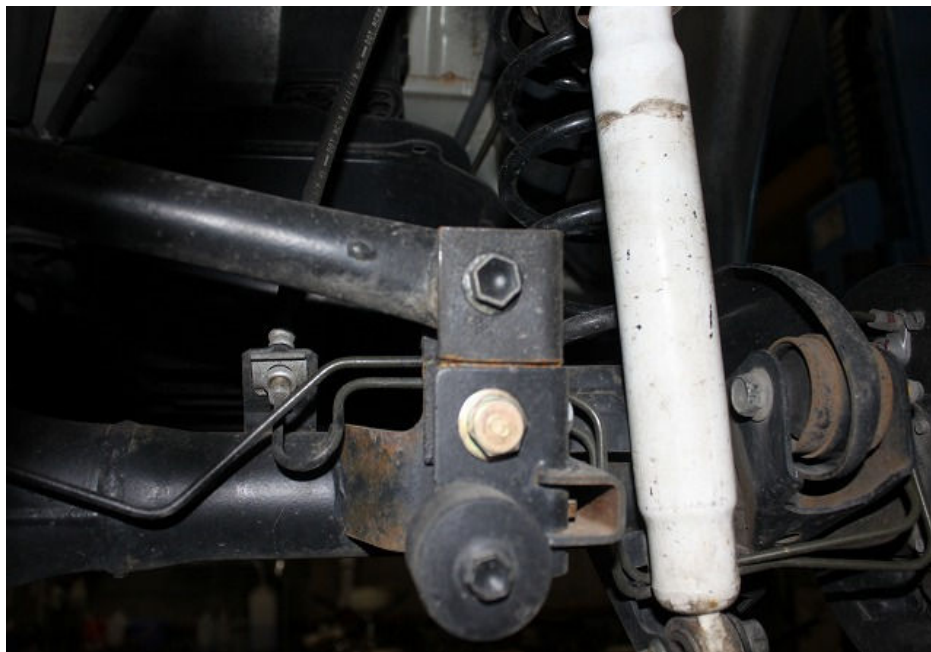
伸びた状態で締めますと ショックの破損や異音の原因になります。

延長ブレーキホースを取付します。



取付後のエア抜きは 確実に行ってください
こぼれたブレーキオイルは水などで洗い流してください そのままにしますと 塗装などが
はがれてきます。

ラテラルアップブラケットを取付します



最初にブラケットを挿し込み 穴の位置を確認してください

大きくずれているようであれば ブラケット本体をベルトサンダーなどで削リ
キチンと穴位置が合うよう 調整してください

(※ 事故車や 個体差によって 若干のずれが出る場合があります)

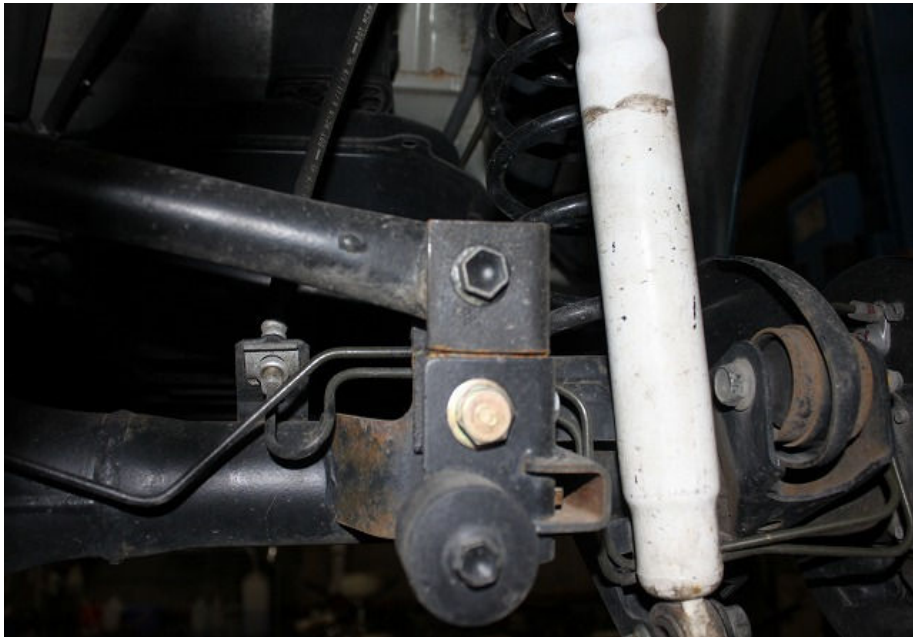
最初に横穴の上の位置から仮止めしていきます7割くらいで止め ます

次に下の穴を留めます



最初に磁石などでナットがかかるまで締めます

その後にマイナスドライバーでボルトを固定し 締めていきます



ラテラルロッドを取り付けるのは 車をある程度下げてから取り付けて下さい

足が伸びた状態では 捻じれが来ていますので ボルトが入れにくいです。

すべてが取付できましたら

車体を地面に着地させ クルマを少し揺さぶり なじませます。

その後に

ショック上部、ショック下部、ラテラル上部、下部 アームピボット部分、などを増し締めします

この手中で増し締めしないと 足が硬くなったり ラテラルのゴムの破損に繋がりますので 確実にこの手中で行ってください

フロントの作業をしていきます

サイドシルなどに馬を掛けてフロントを浮かせます

ステアリングシャフトの ハンドル側のボルトを外しておいてください

メンバーを下げる時に 忘れがちなので 最初にボルトだけ外します

次にフロントのストラットを外します



ストラットを外したら
ブロックを取り付けるために 純正のボルトをハンマーなどで叩き抜きます

このとき 歪まないよう注意してください

何か台など当てて 叩くと 外れやすいです。



ブロックをつけるときは 純正のゴムの蓋もつけたまま付けてください
特につけていなくても大丈夫ですが サビ防止の為にです。

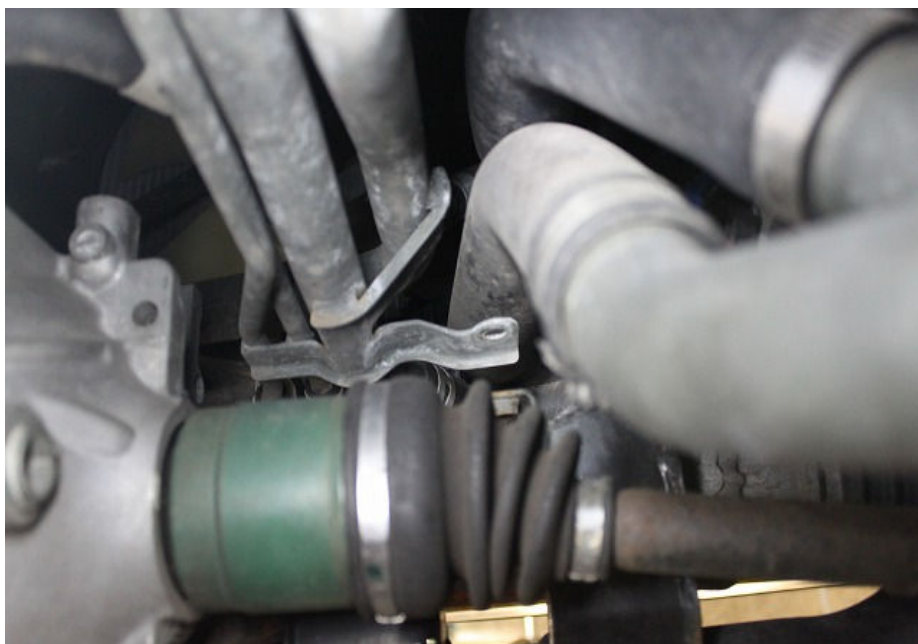


ストラットの上部の増し締めは 車体を下ろしたときに 行ってください

アンダーカバーなどをすべて取り 外します
カバーは メンバーを下げるので付かなくなりますので 使いません

次に メンバーを下げていきます

メンバーを下げる前にインタークーラーやラジエーター配管などのボディと止まっている
ボルトなどを外します



ジャッキでメンバーを抑え 止まっている6箇所のボルトを外していきます

このとき 角材などでメンバー全体を押さえ付けれるようにしておくと 後の作業が楽です



メンバーを下げ ステアリングシャフトの下側のボルトを外し シャフトを抜き
延長シャフトを入れます

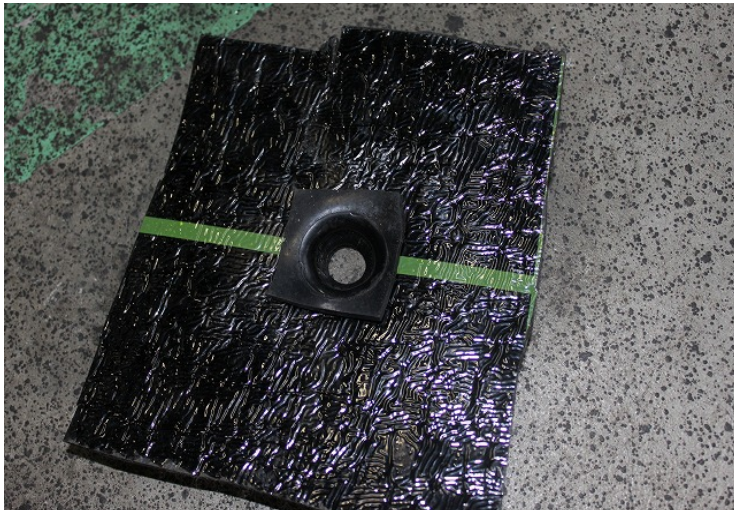
シャフトの角度が変わるので フロアーを少しカットします



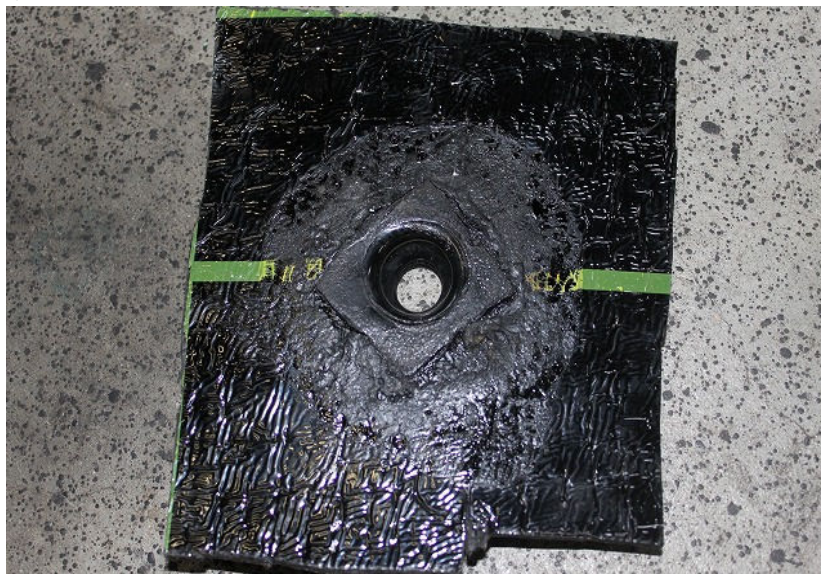
ステアリングシャフトブーツをカットし 付属のマットに 少し小さめの穴を開けます



表面



裏面



バーナーなどであぶると 溶けやすい材質なので やけどをしないよう
ヘラ等で 密着させます



同じように フロアにも 貼り付けし 防水します

穴は 大きく開けると 塞ぎにくいので くびれている部分にぴたっとはまるくらいの
大きさに開けたほうがいいです。

ストラット下部の固定をします



付属のキャンバーボルトを上側に付け キャンバーの調整をします

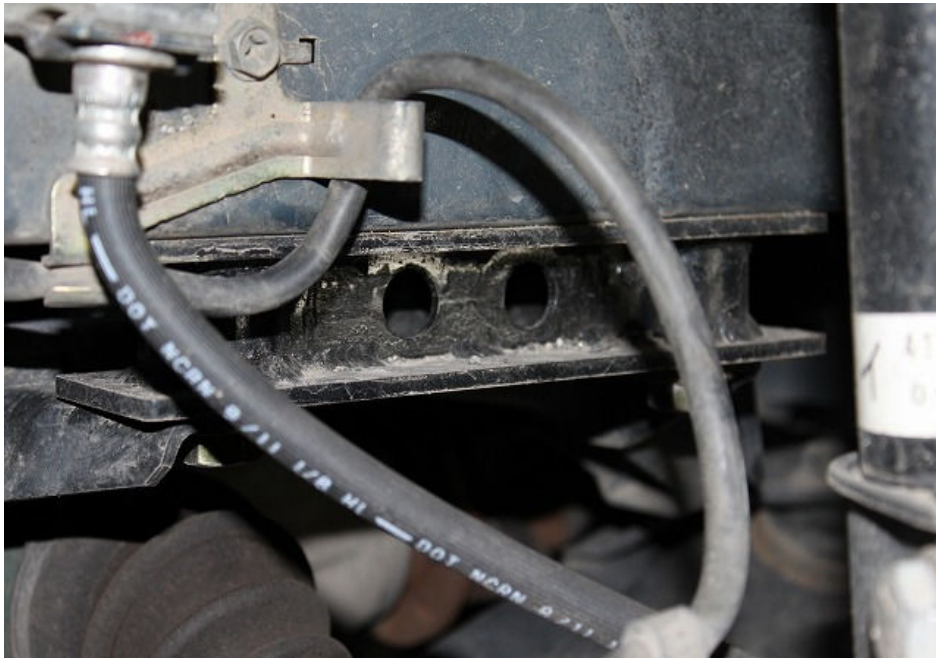
このとき 下側をがっちりしめると 動きませんので 少し緩めておき 調整が出来てから 最後に締めます



ブレーキホースですが そのままつけても問題はありませんが

気になる方は 付属のタイラップで 金属の部分で上側に交わして 固定してください

ABS付きのJ車輛の場合は 配線を余裕を持たせるように 線を少し引き出してください



ハンドルを切った際 干渉しないよう 交わしてください

最後に 馬などを外し 着地させ ストラット上部の増し締めなどしてください

配線などの干渉など無いか最終チェックをして下さい

外したステアリングシャフトは 郵便でかまいませんので 当社までお送り下さい
着払いで結構です

シャフトの破損など無ければ すぐに指定の返金口座にお振込みいたします。

返送先住所

郵便番号 002-0865

札幌市北区屯田町 969-6

(有) フィール

それでは 宜しくお願いします。